

\ ところをつなぐ情報誌 /

うきは

2020.10.15
No.362

掲載記事は10月2日時点で作成しています。
新型コロナウイルス感染症による影響で、
掲載記事の変更やイベント等が中止・
延期となる場合があります。詳しくは市
ホームページ、各問い合わせ先で確認して
ください。

目次

- 3 粗大ごみ回収（吉井町域）
- 4～5 日本に居住する外国人の人権問題
- 6 年金生活者支援給付金制度
うきは市配食サービス
- 7 成人式のお知らせ
- 8 鏡田屋敷指定管理者募集
「南北朝・菊池一族歴史街道プロ
ジェクト」統一ロゴマーク募集
- 9 保育所（園）入所申込受付
保育所（園）・大石学童職員募集
- 10～11 耳納風土記
- 12 ノルディックウォーキング
ミネラル農産物栽培講習会
- 13 宿泊・日帰り助成事業
一の瀬焼協同組合六窯元イベント
- 14 宝くじコミュニティ事業
- 15 学業継続支援給付金
副業・兼業税金セミナー
- 16～17 くらしの情報
- 18 協力隊通信
- 20 まちの話題

今月の表紙



棚田オーナー、秋の実りを収穫

浮羽町で最も山深く、標高500mの葛箆（つづら）には、代々受け継がれてきた約300枚の棚田があります。地元住民で組織された「つづら棚田保全協議会」では平成10年度より棚田オーナー制度を導入し、都市住民との交流や棚田保全に取り組んでいます。

今年は65組の棚田オーナーが登録されていますが、新型コロナウイルスの影響により、田植え祭りは開催されませんでした。収穫祭は9月26日・27日に、感染拡大防止対策のため、参加者数を制限し2日間で先着25組の棚田オーナーで開催しました。参加されたオーナーの中には、「8年連続参加しています。棚田のお米は本当に美味しいです。」と笑顔で話してくれた方や、初めて鎌で稲を刈った子どもたちがいました。

また、稲刈りだけではなく畦の彼岸花の景色や、田や小川でヤモリや沢蟹を見つけたりと日頃できない体験を楽しみながら、秋の実りに感謝していました。